

石上 孝雄

(民主クラブ)

市道の維持管理

問 未舗装道路における砂利の飛散は、融雪後の道路側溝、あぜ草に多く溜まり、町内会、道路愛護組合等に多大な協力をいただいている。また、草刈等は砂利が入って危険な作業になりかねなく、隣接する耕作地も同様な所がある。降雪直前の路面

整正等の維持作業が重要かと思うが、市道における砂利の飛散防止対策について伺う。

答 市が管理する道路延長は681kmで、舗装率は約5割に達



早朝からの除雪

し、未舗装の砂利道は352kmである。これらの砂利道は砂利敷き、グレーダーによる路面整正等維持管理を行っており、地域の要望箇所やパトロールの現地調査により、定期的な路面整正作業を実施している。なお、緊急性の高い箇所はその都度対応しており、砂利面を必要以上にかき起こさない等、除雪作業の注意喚起を図りたい。

問 除雪終了後における道路施設の修理、補修は。舗装率5割程度の進捗率の中で、傷みが目立つ市の大事な財産をどう守っていくのか伺う。

答 例年、除排雪後の道路状況を点検するため、雪解け後の道路パトロールを実施している。

道路施設に破損等がある場合は早急に破損箇所を修理、補修し安全な道路維持に努めている。道路施設の破損防止対策として、除雪の委託業者に対して、除雪前の除雪ポールの設置作業時に道路状況、道路施設の状況を把握するよう指導し、危険箇所については、除雪ポールの間隔を狭くし設置するなどの対応を実施したい。

岡本 俊

(市民連合)

冬の節電対策

問 冬期間節電要請が求められているが市民周知対策は。

答 広報やホームページ、ラジオふらの、新聞報道機関を通じて事業所、家庭へ周知をはかる。

支策として家電製品の消費がわかるワットメーター5台を2週間の期間で貸出を行っている。なお、節電周知に当たっては高齢者等の弱者に無理な節電をしないよう配慮していく。

問 市道におけるロードヒーティングの使用に対する考え方は。



富良野中央跨道橋

答 市道及び歩道を含めて6か所に設置しているが、大部分が傾斜地のため、事故防止の観点から止めることは困難である。

問 公共施設や地域会館を活用して、健康づくりなどを開催することに地域コミュニティの推進が考えられるウオームシアアの取り組みについて伺う。

答 一つの部屋や場所に集まり暖かさを分かち合うことでエネルギーを節約することができ、コミュニティションも深まる取り組みであると認識している。市民それぞれの目的に応じ地域会館、文化会館、図書館、ふらつと、スポーツセンター等の公共施設を利用するウオームシアアについても情報提供したい。

農業計画の策定

問 次期農業計画への庁内体制と今後のスケジュールは。

答 平成26年3月の計画策定を目指し平成25年度当初から計画の検証作業を本格的に進め、計画策定に向けた検討委員会や審議会の設置を速やかにを行い、体制づくりを計画的かつスピード感をもって進めていきたい。